

トーク 企画

市長としゃべらんで 地域おこし協力隊 × 原井 敬 市長



「市長としゃべらんで」第16回目の今回は、前回（12月号）に引き続き、新たに着任した「地域おこし協力隊員」と原井市長とのトークセッションの様をお伝えします。

地域おこし協力隊に なろうと思った理由

市長 それでは、簡単な自己紹介と地域おこし協力隊を志望した動機を中野さんからお願いします。

中野 中野遼太と申します。出身は宮城県仙台市です。志望動機は小さい時から体を動かすことが大好きで、東京のスポーツクラブで働いていましたが、そこで知り合いから「おえっこスポーツクラブ」が地域おこし協力隊を募集していることを聞きました。最初は、総合型地域スポーツクラブってどんなものかわからなかったんですけど、地域の人たちの意見を聞いて運動プログラムを考えたり、みんなで作りあげていくスポーツクラブだということを知って、面白そうだなと思い応募させていただきました。

市長 今、おえっこスポーツクラブの中でどんな仕事をしていますか。

中野 各教室を紹介するための動画撮影と、その編集作業をしています。それと、僕は子どもの教室を担当していて、キッズテニスなどの幼児運動教室で先生の補助として参加させてもらっています。

市長 それでは、次に永井さんお願いします。

永井 永井文也と申します。出身は兵庫で、志望動機は、僕自身ずっとサッカーを続けていたので、サッカークラブに関わりたい、サッカーに関わって今後も生きていきたいという思いがあって、地域おこし協力隊に応募させていただきました。

市長 仕事はどのようなことをしていますか。

永井 市内の小学生に対して、巡回サッカー指導を行っています。地域の小学生にサッカーや体を動かすことの楽しさを伝えて、サッカーの普及につながればと思い活動しています。FC徳島のサッカースクールでも指導させていただいています。

市長 サッカー選手としての現役時代は確かゴールキーパーでしたね。

永井 はい。ゴールキーパーだったので、FC徳島のゴールキーパーコーチもやらせていただいています。

市長 それでは、最後に前田さんお願いします。

前田 前田文香です。地域おこし協力隊になろうと思った理由は、以前から町おこし事業に興味があって、





まえ だ ふみ か
前田 文香 氏

株式会社 Fortua 勤務
FC 徳島の応援活動及び地域貢献活動に関する業務



なが い ふみ や
永井 文也 氏

株式会社 Fortua 勤務
FC 徳島の応援活動及び地域貢献活動に関する業務



なか の りょう た
中野 遼太 氏

総合型地域スポーツクラブ
「おえっこ」勤務
スポーツによるまちおこしに関する業務



原井 敬 市長

どこかできる場所を探していたのと、美郷におじいちゃんが住んでいて、おじいちゃんとおばあちゃんの介護が必要で地元に戻ろうと思ったのがきっかけで、ちょうど地域おこし協力隊を募集していた期間だったんです。もともと徳島出身だったので、これを機に戻ってきました。仕事内容は主に広報担当として、SNSでFC徳島のチーム紹介や試合・イベントの告知活動をしています。あと、永井さんと同じく巡回指導でいろんな小学校やこども園を回らせてもらってます。その他には、来年から新しくグッズの企画開発に携わらせていただけることになり、ワクワクしています。

吉野川市に 来てみての印象

市長 次に、吉野川市に来てみての印象や感想などを教えていただければと思います。

前田さんはもともと地元だと思いますが、足かけ何年ぐらい徳島から離れとったのかな。

前田 14年ぐらいですかね。

市長 帰省する時もあったと思いますが、久しぶりに帰ってきて、当時

と比べての印象や都会と比べての印象などはありますか。

前田 何回かお正月とかに帰ってきたので、知ってはいたのですが、鴨島駅前の印象が変わったなというのは、住み始めてから思いましたね。もう少しにぎやかだったような。

市長 子どもの頃から比べるとね。でもね、近年は少しずつではあるんですが新しい店舗の出店も増えてきているところなんですよ。

永井さんの吉野川市の印象はいかがでしょうか。

永井 妻の職場の話にはなるんですが、周りからよく声をかけてもらえることがあるらしくて、子どもが熱あったら「はよ、帰りや」とか、県民性なのか、吉野川市だからなのかは分かりませんが、人が温かい印象はあります。

市長 都会に比べたら、ぎすぎすしていないというかね。

中野さんは吉野川市の印象はいかがでしょうか。

中野 やっぱり、自然環境に恵まれた素敵な町だなと思いました。市内には大きな吉野川が流れてたり。僕の一歩お気に入り「母衣暮露滝」なんです、5月の晴れた日に行っ

たので、太陽の光に反射してキラキラ光る水が落ちていくのが神秘的でした。あと、食べ物でいうと、僕、徳島に来て初めて「すだち」を食べまして、最初「かばす」と一緒なのかなと思ってたんですけど。

市長 「かばす」とか「柚子」に間違われることが多いですからね。

中野 徳島の方言で「かばす」と「すだち」って言うてるのかなと思ってました。でも、別ものなんですよね。食べて見ると酸っぱすぎないというか、甘さもあってちょうど良くて。僕、よくお酒を飲むんですけど、焼酎に初めて入れて飲んだらすごいおいしくて、ハマってます（笑）

市長 徳島では、居酒屋とかで水割り頼むと、半分に切った「すだち」を出してくれることもあったりして、それを絞ってよく飲んだりしてるんですよ。

中野 そうなんですな。

あとは、鴨島の飲み屋街の周辺を夜に散歩するんですけど、なんか映画のセットみたいで良い雰囲気ですよ。レトロというか、撮影のために作られたみたい。すごい良いなと思って。

市長 「稲荷通り」のところかな。飲み屋街もレトロな感じでしょ。

中野 そうですね。すべてが映画のセットみたいな。撮影用に鴨島駅ができたみたいな（笑）

前田 確かにあそこ映えますよね。

中野 どの角度から撮っても良いショットになるし、そういうところも含めて、鴨島駅前って魅力的だなと。昔がどんな感じだったかは分からないんですけど、ネットで調べても画像はあまり残ってなくて。

市長 商店街の人たちが持つてる写真とかで昔の面影を知ることができますよ。

あと駅前には現在でも30〜40店舗ぐらい「飲み屋」があるんですが、なかなか入るのは勇気がある店ばかりでしょ。

中野 そうなんですよ（笑）1回どうしようか考えて半分だけ開けて覗いて、ゆっくり入っていくみたいな。

市長 私もよく出没してますので。

中野 ほんとですか。

前田 ばったり会うかもしれないですね（笑）

今後の展望

市長 最後に今後取り組んでいきたいことや、やってみたいことなどを教えていただけたらと思います。それでは、永井さんからお願います。

永井 サッカークラブに関わっているので、サッカーといえば吉野川市と思われるぐらいの町にしたいです。子どもからお年寄りまで、試合があつたら見にくるっていうのが僕の理想というか、そういうチームにしたいし、そういうところで働きたいという思いがあります。

市長 おらが町のチームというかね。多くの市民がそう思ってくれたらありがたいですね。3年経った後の展望はあつたりしますか？

永井 個人的には、Jリーグチームのコーチをしたいという夢があるので、FC徳島をJリーグに昇格させたいという思いがあります。

市長 サッカーを一生の仕事にしたいということですね。

永井 そうですね。サッカーで育てられたじゃないですけど、サッカー中心の生活をずっとしてきているので。



▲サッカーの巡回指導を行う永井隊員

市長 中野さんはいかがですか。

中野 SNSもそうなんですけど、パソコンのスキルアップをして、もう少しクリエイターの高い動画を作っていると思っています。あと、出張型のスポーツクラブをやりたいですね。小学校で出張体験をしたり、障がい者施設で、ボッチャやニュースポーツを教えたりとか、来てもらうんじゃないかって、こっちから行ってスポーツの楽しさを伝えたいと思っています。他のスポーツクラブはやっていないので、面白いなあと。以前、上勝小学校にスラックラインというのを持って行ったんですけど、1時間じゃ時間が足りなくて、らい子どもたちが楽しんでくれて、こういうことをこれからもやっていけたら楽しいなと思いました。いろんなスポーツがあるってことを子ども

もたちに見せてあげたくて、体験型でほかにも何か作れないかなと今後に向けて計画しています。

市長 受け入れて待つだけでなく、こちらから出向いて行くということもは私も大切だと思いますね。

「おえっこ」は割合的には、中高年代の人が多いですかね。

中野 そうですね。

市長 ちょっと、気軽に体を動かしたい人とか、子ども向けのプログラムもありますけどね。

中野 あるんですけど、毎回来てくれる子は決まってて、新しい子がなかなか入ってこないですね。

市長 常連の子ばかりですか。

中野 そうですね。なので、もっと気軽に「おえっこ」に来てくれるような仕組みづくりをしていきたいで



▲体力測定で手本を見せる中野隊員



すね。スポーツクラブって聞くとどうしても会員費いくらなの、とか、キツイことするのか、とか入りづらいイメージがあるみたいで。

市長 敷居が高いイメージがね。

中野 誰でも気軽に楽しくというのが僕たちの理念なので、それをみんなに知ってもらえたらなと思います。

市長 それでは、最後に前田さんお願いします。

前田 先ほど少しお話をさせていただいたんですが、町おこし事業に興味があつて、ゆくゆくはそういう仕事を続けていけたらという目標があります。イベントって言っても、私は地元の人たちと一緒にイベントを作っていきたいんです。よそ者が勝手に来て何か勝手にやっているとかわれなくて。6月に倉庫を借りて舞台をやる予定なんです、スタッフも出演者も全員地元の人たちにやってもらう形で計画しています。地元の人たちが自分たちの手でイベントを作っていくという体験を通して、文化・芸術の面で地方と都会との格差を埋めていけたらなと思っています。その他にもやりたいと思っているイベントが何個かあつて。

市長 結構前向きなんですね。

前田 はい(笑)お金はかかるんですけど。

市長 6月にやる舞台も前田さんがプロデュースするような形ですか？

前田 プロデュースに関しては、私がするんですけど、舞台に関しても参加してくれた人たちと一緒に作っていきたいと思っています。まちづくり会社の方々とかにも協力でお声がけしてもらったり、色んな方々に声をかけたら、ぜひやろうと言ってくださつて。

市長 なるほど。素晴らしいですね。文化系ってね、都会との格差があつて、大きなホールがなかったり、有名アーティストが来てくれないとかありますから、いいと思います。

前田 あと、街コンをやりたいくて。街コンをやつて、地元の飲食店や企

業さんに協力してもらつて、食事を男女で楽しんでもらうみたいなイベントを企画したいです。

市長 いいですね。ちょうど、コロナ禍で3年以上という男女の出会いの企画というのが、なかなかなかったの、企画したらたくさん来てくれそうですね。何より、楽しそうですね。

前田 あと、もう1つ考えていることがあつて。珍しいかなと思うんですけど、動物と触れあえるイベントとかあつたら楽しいかなとか。

市長 移動動物園みたいな？

前田 わんちゃんや猫ちゃんの譲渡会みたいな感じで実際に触れあえたり。

市長 吉野川市内ではなかなかないですね。

前田 あと、もう1つ考えてるのが(笑)

市長 すごいですね。

一同 (笑)

前田 徳島のマチャソビみたいになニメとかゲーム、コスプレをこっちでもやったら面白いかなと。

市長 良いですね。マチャソビも年に何回かやってますけど、どうしても徳島市内だけに特化していて、も

う少し広域でしたらいいんじゃないかという意見をよく聞きますので、「あり」だと思います。

前田 コスプレイベントで町おこししている地域もありますしね。

市長 それでは、最後になりますが、今回は三人ともスポーツ系の地域おこし協力隊ということで、スポーツにはさまざまな可能性が秘められていると思いますので、お三方には3年間頑張つていただきたいと思っています。期待しています。本日は、ありがとうございます。

一同 ありがとうございます。

※1 ボッチャ 赤または青の皮製ボールを投げ、「ジャックボール」と呼ばれる白い目標球にどれだけ近づけられるかを競う競技
※2 スラックライン 細いベルト状のラインの上でバランスを楽しむスポーツ



▲マルシェイベントでFC徳島の応援活動を行う前田隊員

